

講演 芥川龍之介「羅生門」の成立過程



国立国会図書館「近代日本人の肖像」より

講師：清水康次氏
 (大阪大学大学院文学研究科教授)
日時：平成23年11月6日(日)13:30~15:00
場所：大阪府立大学学術情報センター
 図書館 2階中会議室
定員：50名(応募者多数の場合抽選)
参加無料

講演概要：「羅生門」の成立には、古今東西の多くの文学作品が関与している。当時、東京帝大の学生であった芥川は、文壇でブームになっていたアナトール・フランスの作品を手本にして、実作を試みる。中国の古典文学の素材に、西洋の短編小説のスタイルを適用して、鷗外の翻訳小説も参考にしながら、「仙人」という習作が書かれる。この習作が「今昔物語集」と出会って「羅生門」が生れる。当時の文壇の動向を見守りながら、次第に短編小説に習熟していく芥川の創作活動を、府立大学の所蔵資料を見ながら追跡して行きたい。

*事前のお申込が必要です*往復ハガキまたはEメールで、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記の上、一人1通でお申込下さい。〒599-8531堺市中区学園町1-1大阪府立大学学術情報センター図書館「古典籍へのいざない」または、kouen@ao.osakafu-u.ac.jpへ。10月28日(金)必着。 ■ 問い合わせ先:大阪府立大学学術情報センター図書館 TEL:072-254-8351 ■

展観 近代文豪の自筆原稿展

期間：平成23年10月11日(火)~12月28日(水)
場所：大阪府立大学学術情報センター図書館 1階



夏目漱石「猫の墓」
自筆原稿 ←



二葉亭四迷「二狂人」
自筆原稿 ←



国木田独歩「少年の悲哀」
自筆原稿 ←

学術情報センター図書館では、講演に関連した資料として、当館所蔵の貴重書のなかから夏目漱石や二葉亭四迷、国木田独歩など、近代日本文豪の自筆原稿の展観を行います。併せて、漱石の書簡や『三四郎』『それから』の初版本、与謝野晶子の『みだれ髪』の初版本も紹介します。



卒業生があつた頃に帰る日

第2回 大阪府立大学 ホームcomingデー

11月6日(日) 10:00~15:45 中百舌鳥キャンパスにて